

土合小学校 学校だより



くすのき



学校のシンボル
くすの木

令和5年度 第9号

令和6年 1月 9日

さいたま市立土合小学校

〒338-0832 さいたま市桜区西堀 7-21-1

TEL 048-862-5156

FAX 048-836-1580

「あたりまえ」に感謝を

校長 菊地 勇

令和6年(2024年)、新しい年が幕を開けました。新春の挨拶から始めたいところではありますが、元日には、石川県能登地方で発生した地震、翌日には羽田空港で発生した航空機事故等、心の痛む災害や事故が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様や事故に遭われた皆様、そのご家族、ご親戚の皆様へ心からお見舞い申し上げます。

私たちは、人からとても親切にされたり、助けてもらったり、物をいただいた時には、とても嬉しく思い、感謝をします。自分に対しての「行為」だったり、「もの」であったりすればとても分かりやすく、素直に感謝することができます。お年玉をいただくときに、「ありがとうございます」も言わず、無言で受け取る人はいないはずです。

日常生活の中で特別に何かしてもらおうことがなくても、感謝することはたくさんあるのかなと考えます。被災地では、3学期始業式の延期が決定されているところもあり、私は、さいたま市内のように、通常どおり3学期がスタートできるということにも、感謝をしなければならなかったと感じました。その他にも、子どもたちが元気に登校できること、いろいろな楽しい授業が行われていること、おいしい給食をいただけること、子どもたちが元気で過ごしていること……。人は、「あたりまえ」のことほど、それに対する感謝の心を忘れがちなのではないでしょうか？まわりを見渡してみても、「あたりまえ」を改めて見直してみることが大切なのかもしれません。多くの「あたりまえ」が当たり前のように毎日繰り返されていて、ありがたいことです。もちろん、多くの「あたりまえ」のためには、ご家庭で愛情を込めて育ててくださっていること、防犯ボランティアの皆様、地域の皆様、教職員、調理員さんなど周りの皆様があたたかく見守ってくださっているからです。「あたりまえ」に感謝をしたいと思います。

今回も天文に関する話題ですが、今年は、彗星に期待をしたいです。3月下旬～4月にかけて、夕方西の空低くに見える可能性(肉眼では難しいですが…)がある「ポン・ブルックス彗星」です。4等星位の明るさと予想されていますが、パーストすると明るくなる可能性を秘めているので、期待を込めて楽しみにしたいですね。この彗星は、70年周期なので次は2094年頃でしょうか。

2つ目の彗星は、期待しています。「ツチンシャン・アトラス彗星」です。9月28日頃には、0等星位の明るさになるのでは、と予想されています。かなり楽観的な予想ではマイナス5等星位(金星よりも明るい)と言われていますが、どうでしょうか？0等星でも感動的ですが……。彗星は、太陽に接近すると「長い尾」を形成し、太陽との距離が近くなるほど尾の長さは長くなり、明るくなります。ガスの尾は、青い色をしており、太陽の反対側にまっすぐ尾は伸びます。

彗星は、期待していなかったものが、凄く明るくなったり、期待していたものが期待ほど明るくならなかったりします。私は、大いに期待しています。余談ですが、私と世代が近い方は、「ハレー彗星」を知っていますか？ハレー彗星は、昨年遠日点を通過し、地球の方向に向けて進んできています。2061年に地球に接近(1986年から75年たつわけです)してきます。

さあ、3学期がスタートです。新たな気持ちでスタートできるチャンスです。様々な活動を全力で取り組み、充実した「飛躍の年」そして「結実の3学期」となるよう心より願っています。